

学校名 秩父市立花の木小学校
所在地 秩父市上町2-21-37
電話 0494-22-0607

1 本校の概要

本校は、秩父市の中央に位置する学級数14、児童数315名の中規模校である。2つの学校図書館があり、貸出窓口を廊下に設置している。今年度も感染症対策を講じながら、司書教諭と学校図書館司書教諭補助員が中心になって、学校図書館等の整備や児童の読書習慣の定着、読書意欲の向上を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書活動の推進
- ・読書に親しむ態度や読書習慣化に係る取組
- ・環境整備等の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書貯金の取組と読書通帳
読んだ本を記録し、読書貯金として貯めていく読書通帳を学年毎に色を変えて取り組んでいる。



イ 朝読書

毎週3回(月・水・木)の朝10分間、朝読書を行い、読書の習慣を定着させている。学校図書館の本だけでなく、市立図書館の「朝読セット」や「お家読書支援事業」の本も活用して朝読書の時間を過ごしている。



ウ 図書委員会の取組

図書委員の児童が、おすすめの本の紹介や児童への読み聞かせをしたり、ISS図書新聞を発行したりして、全校児童の読書に対する興味・関心を高めた。

エ 読書強化月間の取組

6月・11月・2月の年3回を「読書月間」として2冊まで貸し出し、児童には「手作りのブックマーク」などをプレゼント



した。こうしたことで意欲喚起が図られ、今年度は昨年度貸出冊数の1.5倍になった。また、色とりどりの葉の紙に読んだ本の題名や感想などを書いて貼る「読書の木」にも取り組み、読書の幅を広げていった。



オ 廊下等の環境整備の工夫

学校図書館や学校図書館前等のスペースを活用して、新刊図書の紹介をしている。また、廊下からでも学校図書館の本に目が向く環境づくりに努めている。



カ 家庭との連携

ファミリー読書週間を設定し、親子で一緒に読む機会をつくったことで読書の輪を家庭に広め、質の向上に努めた。

キ 市立図書館との連携

学区にある市立図書館の司書の方と連携し、「お話の会」や「ブックトーク」をしてもらったり、2年生が図書館カードを作成してもらったりして、より多くの本と出会い、豊かな心を育む機会にしている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 読書への関心が高まり、昨年度よりもさらに読書量が増えた。
- イ 本を手にすることが増え、児童間の話題に「読書」が登場することが多くなった。

(2) 課題

- ア コロナ禍での外部ボランティアとの連携
- イ 家庭や地域への読書の輪の広がり

4 おわりに

取組の成果から、本に興味をもち、本の楽しさに気付く児童が増えている。今後も読書活動を推進し、児童と本との出会いを増やしていきたい。